

3D

フラワーコースター

～作り方～



エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----

注意点①

比率を間違えない



注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **25°C 2日間**

適応作品 波アート等の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

使用用途 作品のコーティング

用意するもの



材料

■波専用レジン ■着色剤(マイカパウダー、アクリル絵の具) ■ガラスビーズ

道具

電子スケール ヒートガン 非接触型温度計 はさみ 竹串 混ぜ棒
ビニール手袋 紙コップ チャック袋 カバー箱 ガムテープ フチ波モールド

★作り方★



①ガムテープでモールドの埃を取りながらキズがないかを確認する

埃・キズが残るとそのまま固まってしまうたり痕になってしまう為、要確認する。

また、曇ったモールドを使用すると、完成後も曇ってしまうので劣化したモールドは交換する。



②レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。

レジン使用量120gの場合(主剤80g:硬化剤40g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。



③ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が42~45度くらいになるまで放置する。

硬化が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジンを温める。その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度で次の工程へ。



④ レジンを取り分けて着色し、残りのレジンをモールドに流す

色付け用レジンを紙コップに10gを2つ取り分け着色する。残ったレジンをすべてモールドのに注ぐ。モールドのフチを竹串でなぞり、気泡を取り除く。



⑤ 中心にガラスフレークを入れる

ガラスフレークを中心に入れ、レジんに沈ませる。



⑥ 着色したレジンをチャック袋に入れる

それぞれの着色レジンをチャック袋に入れ、端っこを切って絞り袋の様にする。



⑦ 透明レジンの粘度を確認し、ハチミツくらいになったら円を描く

中心から1色目→2色目→1色目と交互に円を描く。



⑧ ヒートガンで色付きレジンの線幅を太くするように内側に向かって風を当てる

レジンが暖まると線が動きやすくなるので、近くで当てないようにする。線幅が2~3mmになったら風を止める。

※自然にレジンが中心に向かって動くので奥行きが出る

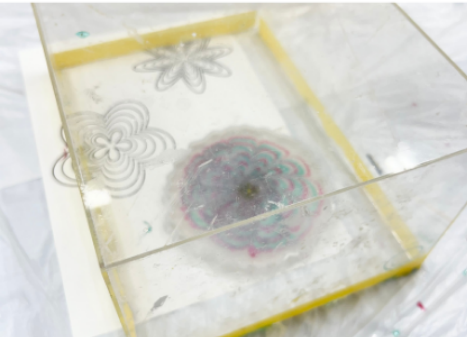


⑨竹串で花びらと花びらの間に筋を通す

外側から内側に向かって線を引く。

中心のガラスフレイクが動かない用に注意する。

お好みで花卉の内側から外側に向かって竹串を通すと花びらの形が変わる。



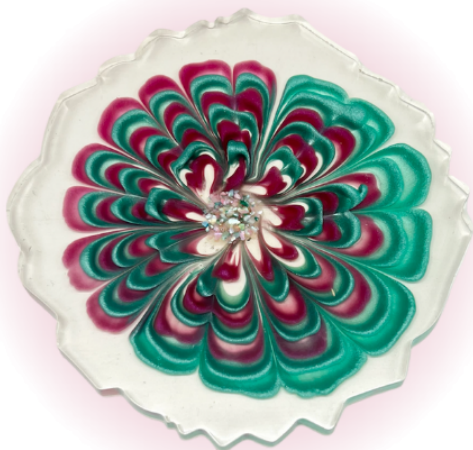
⑩約2日間硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。



⑪完全硬化後にモールドから外す

約2日後、完全硬化したらモールドから外す。



3Dフラワー完成！

※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

